

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	岩国YMCA国際医療福祉専門学校
設置者名	広島YMCA学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	保健看護学科 統合カリキュラム	夜・通信	63 単位 (1890 時間)	3×4=12 単位	
	看護学科	夜・通信	44 単位 (1245 時間)	3×2=6 単位	
教育・社会福祉専門課程	介護福祉学科	夜・通信	1410 時間	80×2=160 時間	
実務専門課程	医療秘書学科	夜・通信	1125 時間	80×2=160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

シラバスに科目名、講師名、資格等を掲載し学生や教員、講師等の関係者に配布

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	岩国YMCA国際医療福祉専門学校
設置者名	学校法人広島YMCA学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページで閲覧可能 https://www.iwakuni-ymca.jp/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	広島重工業社長・ 取締役	R元年7/24-R4年7/23	経営全般
非常勤	一ノ瀬病院副院長	R元年7/24-R4年7/23	組織運営チェック 機能
非常勤	学習共同体河浜塾 代表取締役会長	R元年7/24-R4年7/23	組織運営チェック 機能
非常勤	株式会社アメリカ ンドリーム代表取 締役	R元年7/24-R4年7/23	財務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岩国YMC A国際医療福祉専門学校
設置者名	広島YMC A学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 学校の指定規則に基づき、核授業科目ごとに、学習目的、単元目標、評価方法、時間数、参考文献等記載。 3月に講師会議を開催し、教員とミーティングを実施。 また、年2回、外部委員を含めての教育課程編成委員会を開催し、カリキュラムや到達目標、成績評価等の内容について協議。 シラバスは全学生と、教員、非常勤講師他関係者に内容を説明して配布。</p>	
授業計画書の公表方法	ホームページやパンフレットに記載
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 毎年、学生全員と講師、教職員に「学生便覧」を配布。 その中の「履修規程」で、授業科目、時間数、授業科目の履修、履修方法単位の認定及び成績の評価、終了試験、追試験、再試験、筆記試験の方法実習の評価、欠席、欠課、公認欠席等の項目で履修について細かく規定している。 成績評価は原則として各学期、または授業科目の終了時の実施 評価は100点法とし60点以上で単位認定とする。成績の表示は4段階で A(80~100点) B(70~79点) C(60~69点) D(60点未満)としC以上を合格とし、単位認定している。やむをえない事情で終了試験を受けられなかった者は追試験を受けることが出来る。終了試験、追試験で不合格となった者は当該科目の再試験を受けることが出来る。 年度末には、学校の責任者と学科の責任者で「単位認定、進級判定会議」を開催し協議を行っている。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 学科の各年次ごとに全履修科目の成績得点を合計し、平均点を算出したもので成績の順位を示している。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>今年度中にホームページに公表予定</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本校の「単位修得・卒業認定会議規程」に基づき、卒業認定会議を開催し、規定の単位履修が出来ている者について卒業の認定を行っている。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>事務所受付にて一般の方にも閲覧可能となっている。</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	岩国YMCA国際医療福祉専門学
設置者名	学校法人広島YMCA学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	事務所受付にて一般の方にも閲覧可能となっている。
収支計算書又は損益計算書	事務所受付にて一般の方にも閲覧可能となっている。
財産目録	事務所受付にて一般の方にも閲覧可能となっている。
事業報告書	事務所受付にて一般の方にも閲覧可能となっている。
監事による監査報告（書）	事務所受付にて一般の方にも閲覧可能となっている。

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	保健看護学科	—	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	3870時間 /126単位 単位時間/単位	2355/90 単位時 間/単位	210/7 単位時 間/単位	1305/29 単位時 間/単位	単位時 間/単位	単位時 間/単位
	夜間		単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		155人	0人	15人	53人	68人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3に記載
成績評価の基準・方法
（概要） 出席日数は講義、臨地実習等規定時間数の3分の2以上、成績は4段階評価 A（80～100点） B（70～79点） C（60～69点） D（60点未満）としている。 D評価は不合格
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の場合は国家試験との関係で2月に、進級の場合は3月に卒業・進級判定会 議を開催して決定。すべての科目が合格であることが規準。
学修支援等

<p>(概要)</p> <p>学年は担任、副担任制をとっており、個別の指導を行っている。問題のある学生については保護者との連携を密にし、メンタルヘルス的なことに関しては学校のスクールカウンセラーの協力を得ている。</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
26人 (100%)	0人 (%)	26人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 病院 保健所			
(就職指導内容) 本人の希望を重視し、就職先の支援を行っている			
(主な学修成果(資格・検定等)) 国家試験合格率 看護師 92.3%(全国 94.7%) 保健師 80.8%(全国 96.3%)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	5人	19.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的困窮、学力不足		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個別面談、保護者との面談、スクールカウンセラーの活用 学力面では、個人指導		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
保健看護学科	150,000 円	800,000 円	250,000 円	
看護学科	150,000 円	650,000 円	250,000 円	
介護福祉学科	150,000 円	600,000 円	250,000 円	
医療秘書学科	150,000 円	400,000 円	250,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 毎年教職員全員による自己評価を実施。学内で「自己点検・自己評価委員会」を月1回開催し、自己評価の評価規準や、評価結果についての検証を行っている。評価結果は学校関係者評価委員会で協議し、その結果をホームページに掲載している。ホームページアドレス： https://www.iwakuni-ymca.jp/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
「学校関係者評価委員会規程」を作成し、規定に基づき年2回開催している。外部委員は5名、学内から4名の構成メンバーで、目的は「教育活動や学校運営を評価することにより、より良い学校運営を目指す」としている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
卒業生の保護者	2年	病院の事務職
卒業生(病院の管理職)	2年	看護部長
一般(病院の管理職)	2年	看護師長
病院	2年	事務部長
介護老人保健施設	2年	事務長
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方 https://www.iwakuni-ymca.jp/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請の場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	岩国YMC A国際医療福祉専門学校
設置者名	学校法人広島YMC A学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		0人	0人	0人
区 別	第Ⅰ区分	0人	0人	0人
	第Ⅱ区分	0人	0人	0人
	第Ⅲ区分	0人	0人	0人
家計急変による支援対象者（年間）		0	0	0人
合計（年間）		0	0	0人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	2人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	2人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	1人
3月以上の停学	0人
年間計	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	人	人
計	人	人	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。